

いわて思春期研究会 交流会

平成 23 年 6 月 12 日 (日) 13:30 ~ 16:00

アイーナ 8 階 803 会議室

【参加者の感想】

- ・ 被災地の子ども達に、どのようなことが必要とされているのか。継続して関心を寄せ、見守りつつ、できることがあればやっていこうと思っている。
- ・ 様々なお立場でのお話が聞けて、とても勉強になりました。自分の気持ちより被災地の方々が思っている事を考え、行動したいです。
- ・ 多方面からお話が聞けて、勉強になりました。私ができることをとにかく“継続”していこうと思います。私自身が心にいつも「問いかけ」て生きていきたいです。
- ・ 各分野からの災害現場の報告が参考になりました。沿岸部復興を内陸部からも継続支援したいと思います。
- ・ まだ1度も被災地に行っていなくて心苦しく思っていました。今日のみなさんのお話を聞いて、親の立場、先生の立場、仕事で関わった方々、本当にこの3ヶ月、いろいろな思いを持って過ごしてきたんだなあと思いました。まだまだ支援は続くと思いますので、私もできることをしていきたいと思っています。今日はありがとうございました。
- ・ P T A ・ 養護教諭の先生など為になるお話を沢山聞けました。これからも自分にできることを考えていきたいです。「ユートピア症候群」という言葉を初めて聞きました。多くの職種で多方面の角度から見る事が大切だと思いました。
- ・ 現場への支援は単純ではないことがよく分かりました。統制のとれた組織的な活動が必要です。子どもに対しては、親がしっかりと姿勢を見せないといけないと思いました。(支援活動している人も、活動できない人も。)非日常の生活が続いていますが、徐々に日常をとりもどしていかないといけないと思います。
- ・ 自分の地域、職場、家庭では聞けない話を、様々な立場の方から聞くことができ、とても有意義な会でした。個人的には震災を体験して“大人として”どう生きていくかと

いうことを、突きつけられた気がします。健康な大人として子ども達をどう育てていくかということ強く意識していかねばならないなと思っています。素敵な大人が集まっているこの会は、とてもすばらしいと思います。参加して本当に良かったです。元気なれました。

- ・ 少人数でテーマを震災支援や被災地の子ども支援に特化して話し合いができたことは大変有意義でした。他職種の方がそれぞれの立場で体験した具体的内容や感じていることを共有することは、新しい気づきにつながりました。この震災後、社会を作っていく次世代の子ども達に震災体験が良い意味での糧となるためには、私達大人の姿勢や考えをどう見せ、話し、示していくかが重要だと思います。被災したことを忘れず、時々こういう形の交流を持っていくべきですね。その場づくりをこの研究会に期待致します。
- ・ 被災地に住む人間の立場で参加させていただきました。集まったみなさん、それぞれの立場で、今回の震災のこと、支援のことを真剣に考えてくださっていること、本当に感謝いたします。まだまだ心の中で整理がつかないまま参加しましたが、「来て良かった」と思いました。今後どんな災害がどんな所で起こるかわかりません。今回のことをきっかけに、沿岸の子どもにも内陸の子どもにも防災教育（命の教育）をしっかりとしていかなければ、とも思います。
- ・ 様々な立場の方から様々なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。この震災を通して私達が今後やっていかなければならないことが何かということが確認できました。そして子ども達に向けて、私達親や大人がどんな思いを持ってどう行動するかということが一番大事だということを改めて思いました。一日も早い被災地の復興を願っています。そして長く支援していきたいと思えます。

以上11名です。

ありがとうございました。